

項目番号	学習項目	2年C組	作成者
1	笠間焼		

笠間焼



笠間焼とは

茨城県笠間地域で採れた粘土を使って作られる関東で最も古い歴史を持つ焼物です!

<笠間焼 history>

・江戸時代中期

笠間焼の歴史は江戸時代中期、安永年間(1772~1781年)から始まります。箱田村(現・笠間市箱田)の久野半右衛門が、信楽の陶工・長右衛門の指導で土器を始め、窯を築いたとされています。

・幕末〜明治時代

後に笠間藩の仕込窯として保護され、甕・猪子鉢などの日用雑器が作られた。幕末から明治時代にかけては江戸に近い利点から、大量生産をし、技術者や従事者も飛躍的に増加しました。明治時代には特に、厨房用粗陶品の産地として知られていました。

・戦後

しかし、終戦後、プラスチック製品の流入などにより、人の生活様式も大きく変化し、笠間焼の需用は減り、窯元は今まで経験したことがない危機に陥りました。そのような中、県立窯業指導所や窯業田地、笠間焼協同組合などが設立され、官民一体となり、試行錯誤の末、厨房用粗陶品から工業陶器への転換を計りました。

・近年

平成4年に伝統的工芸品に指定され、近年では、古い歴史に育まれてきた伝統に新たな技法が加わり、「笠間焼」を開発し、土鍋や土板など新たな商品を生み出しています。現在では約30人の陶芸家や窯元がいる窯業産地となっています。

<陶炎祭ーひまっりー>

開催時期

毎年4/29
~5/5

開催場所

〒309-1611
茨城県笠間市笠間2345
「笠間芸術の森公園」

イベント

土器ワークショップ
「野焼きショー」
夜祭りにイブ・キンドル材 etc...

笠間焼に興味をもった方々はぜひいって
みましょう!